

重点プロジェクトの設定について

1 これまでの経過

- 2019年 5月 政策推進戦略本部会議、幹事会議
 6月 議会総務常任委員会
 7月 政策推進懇話会
 8-10月 プロジェクト会議4回、企業等ヒアリング

2 主な意見

(1) 政策推進懇話会

- ・豊かな自然も歴史文化も磨いて次につなげる必要がある。
- ・地場産業の環境対策はこれから必須であり東近江市なら可能性がある。
- ・利益の最大化を第一義としない社会的投資や遺贈寄付は今後益々増えていく。
- ・イベントの先にある市民満足や経済効果を意識して施策に取り組むべき。
- ・農業、林業の担い手は今後大きな課題となる。
- ・子どもの自然体験は定住移住にもつながる重要な取組である。

(2) プロジェクト会議

- ・幼小中高を通じて東近江市の自然や文化を活用した学びの場を提供する。
- ・地域の核となる人材の育成（女性、若者が集いコラボできる場づくり）
- ・東近江市の強みを生かした体験の機会を有料で提供
- ・中小企業や農林業など多様な人材を確保するための就労のマッチング機能を充実
- ・東近江版 Uber、ハイテク農業、光ファイバーを活用した在宅ワーク等
- ・小中高生に地元企業の情報を届けることや企業で体験する機会を創出することで就職を応援
- ・外国人労働者が増加していることから地域との交流や日本語を学ぶ機会など充実させる

(3) 企業等ヒアリング

- ・仕事はあるが6、7年前から求人を出しても人が来ない状況であり、外国人はかなり戦力となっている。技能実習生制度も活用し、アパートを会社で用意して外国人が共同生活している。
- ・日本語を学びたいという外国人は多いが、学べる場所がない。
- ・仕事以外の時間を趣味やイベントに使う外国人も少なくない。
- ・就労支援については多様な働き方を提案し、企業の担い手対策に役立っている。

3 第2期戦略策定方針

現戦略の基本目標は踏襲し、現状と新たな課題に合わせて具体的な取組を修正・追記

●第1章 基本的な考え方

第1期の評価、現状と新たな課題を追記

●第2章 基本目標

新たな視点を追記（中小企業の事業承継、地域共生社会づくりなど）

●第3章 具体的な取組

各部で修正作業

●第4章 重点プロジェクト（新たに追加）

部局横断を意識し、複数課題の解決につながる具体的な取組について明記
 「選ばれる東近江市（現代版の惣村自治）」の実現を目指すテーマを設定
 テーマ（案）

- Project 1 地域の歴史・文化資源の磨き上げ
 （歴史・文化の再評価と活用による地域活性化の実現）
- Project 2 人と仕事をつなぐ機会の創出
 （地域の魅力ある産業の活性化と多様な働き方の実現）
- Project 3 自然を最大限生かした子育て環境づくり
 （自然体験型保育・教育を通じた「選ばれる保育」の実現）
- Project 4 東近江三方よし基金を活用した資金循環の仕組みづくり
 （志のある資金が循環する地域の実現）
- Project 5 保幼小中高大を通じた人材育成の仕組みづくり
 （地域をフィールドにした若者育成の実現）

見せ方（案）

- Project 1 地域の歴史・文化資源の磨き上げ
 ～歴史・文化の再評価と活用による地域活性化の実現～

東近江市は、近江商人の応時の暮らしがうかがえる歴史的なまちなみや琵琶湖や山からの湧き水を取り入れた生活等、地域に伝わる歴史・文化豊かな地です。これら地域の歴史・文化資源について、市民が改めて知ることや外部からの評価の高まりを受けることで、地域に誇りを持つ人を増やしていきます。また、地域の歴史・文化を活用することで来訪者の増加、滞在時間の延伸・観光消費額の増加につなげ、新たなビジネスの展開等により地域経済の活性化を図ります。さらに、地域の歴史・文化の次世代への継承が必要であり、とりわけ若者自らが歴史・文化にふれ、発信する機会を創出する等、地域の歴史・文化の価値について若者が知ること、若い世代の定住・移住につなげていきます。

